

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科		理学療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名		理学療法評価学Ⅴ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	16 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		3年		学期及び曜時限	後期	教室名	303他
担 当 教 員		荒木 将平、高田 秀志、杉原 翔太	実務経験とその関連資格	理学療法士として医療・介護系での勤務経験あり。			
《授業科目における学習内容》							
実習を通じた成長を評価するため、実習報告会やPost-CC-OSCEを実施する							
《成績評価の方法と基準》							
実習報告会の内容、ポートフォリオ評価、Post-CC-OSCEの結果を総合的に判断する							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
配布資料							
《授業外における学習方法》							
実習を振り返り、成果物をポートフォリオに整理しておくことに加え、成長したこと残された課題を整理しておく							
《履修に当たっての留意点》							
記録表や検査道具の忘れ物に注意し、実技練習においては相応しい服装を準備の上取り組むこと。							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	本科目の目的と到達目標を説明できる		教科書 配布資料	実習での成果物をポートフォリオに整理しておく	
		各コマにおける授業予定	本科目におけるオリエンテーションを行う				
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	臨床実習での経験、成長したこと、残された課題等を整理し、実習報告会に向けた準備ができる。		教科書 配布資料	十分な準備を行う	
		各コマにおける授業予定	実習報告会に向けた準備を行う				
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床実習での経験、成長したこと、残された課題等を整理し、他者に共有できる。また、他者から学ぶことができる。		教科書 配布資料	他者からの学びを整理しておく	
		各コマにおける授業予定	実習報告会を行う				
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	臨床実習での経験、成長したこと、残された課題等を整理し、他者に共有できる。また、他者から学ぶことができる。		教科書 配布資料	他者からの学びを整理しておく	
		各コマにおける授業予定	実習報告会を行う				
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床実習での経験、成長したこと、残された課題等を整理し、他者に共有できる。また、他者から学ぶことができる。		教科書 配布資料	他者からの学びを整理しておく	
		各コマにおける授業予定	実習報告会を行う				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	模擬患者に対し検査測定を実施できる	教科書 配布資料	必要な評価表や検査器具を準備しておく
		各コマにおける授業予定	Post-CC-OSCEを実施する		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	模擬患者に対し検査測定を実施できる	教科書 配布資料	必要な評価表や検査器具を準備しておく
		各コマにおける授業予定	Post-CC-OSCEを実施する		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	模擬患者に対し検査測定を実施できる	教科書 配布資料	必要な評価表や検査器具を準備しておく
		各コマにおける授業予定	Post-CC-OSCEを実施する		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			